

## 2019年度 シラバス

教科	情報	科目	社会と情報	学年	1
				コース等	T
	使用教科書		『高校 社会と情報』実教出版	履修単位数	2
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集、処理、発信するための基礎的な知識と技能を習得する。</li> <li>・授業形式、個人学習、グループ学習、コンピュータ実習、プレゼンテーション発表会など、様々な形態の学習活動を行う。</li> </ul>			評価の観点	定期考査(年1回)・授業態度・出席状況・提出物・実習の取り組みなどを総合的に判断し、評価する。
<b>授 業 計 画</b>					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4 5	○第1章 情報社会 ・情報と情報社会 ・社会の変化と個人の責任 ○Wordの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報とは何か。情報社会の特徴を理解する。</li> <li>・社会の変化と個人の責任について学ぶ。</li> <li>【Word】</li> <li>・パソコンの基本操作</li> <li>・ファイルに関する基本知識を確認しながら、基本操作をと整理整頓を行う。</li> <li>・ページ設定と文字列の体裁を整える。</li> </ul>			
6 7 9	○第1章 情報社会 ・情報社会の問題 ・個人情報とその保護 ・メディアとその特徴 ○Wordの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会の問題について理解する。</li> <li>・個人情報とその保護について正しい知識を学ぶ。</li> <li>・情報を表現し、伝達する手段のメディアについて学ぶ。</li> <li>【Word】</li> <li>・表を挿入し、表の体裁を整える。</li> <li>・ビジュアルな文書を作成する。</li> <li>・文化祭のクラス企画ポスター作成</li> <li>・ワードアート、図形、画像を用いた各種文書等作成</li> </ul>			
9 10 11	○第2章 コミュニケーション ・電子メールの利用 ○第3章 情報安全 ・個人による安全対策 ・組織による安全対策 ・知的財産権と産業財産権 ・著作権と著作物の利用 ○Power Pointの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションツールを目的や場面に応じて使い分けることを学ぶ。</li> <li>・電子メールの特徴と利用について理解する。</li> <li>・情報セキュリティにおける個人と組織の対応を学ぶ。</li> <li>・知的財産権、産業財産権について学ぶ。</li> <li>・著作権について詳しく学習し理解する。</li> <li>【Power Point】</li> <li>・サイエンスツアーの個人テーマについて調べ、学習した内容をパワーポイントにまとめてグループ発表、クラス発表、学年発表を行う。</li> </ul>			
12 1 2	○第4章 デジタル化 ・デジタル情報の特徴 ○第5章 問題解決 ・情報の収集 ・分析のための工夫 ・関数と統計 ・表とグラフの活用 ・問題解決の実践 ○Excelの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アナログとデジタルの違いについて理解する。</li> <li>・広く普及しているインターネットを活用し、情報を効率よく収集する方法を学ぶ。</li> <li>・収集したデータを表計算ソフトで整理する。</li> <li>【Excel】</li> <li>・基本的なデータをセルに入力する操作、基本的な計算する操作</li> <li>・見やすい表にするための基本的な体裁の調整</li> <li>・表をもとに、基本的なグラフを作成する。</li> </ul>			
3	《第4回定期試験》 P検定対策				
副教材	『高校 社会と情報 学習ノート』実教出版				